



平成 29 年 5 月 19 日

各位

会 社 名 チエル株式会社  
代表者名 代表取締役社長 川居 睦  
(証券コード 3933 東証 JASDAQ)  
問合せ先 執行役員 社長室長 山田 松男  
(TEL. 03-6712-9721)

### 「中継装置、中継方法及び中継プログラム」に関する特許査定について

この度、当社が、株式会社 NOA Systems（本社：#208, 28, Digital-ro 33-gil, Guro-gu, Seoul, Korea  
代表理事：琴 正在 以下：ノア社）と共同で特許出願しておりました「中継装置、中継方法及び中継プログラム」に関し、特許査定を受けましたので、お知らせいたします。（出願番号：特願 2016-039925）

本特許技術の応用により製品化された無線 LAN 最適化ソリューション『Tbridge（ティーブリッジ）』  
(<http://www.chieru.co.jp/products/tbridge/>) は、無線 LAN 使用時の TCP 通信におけるパケットロス  
の影響を低減し、遅延時間の縮小を実現することで、データ転送の処理能力を改善するものです。

近年、公衆 Wi-Fi を含め、企業や教育機関等で無線 LAN が普及する中で、パケットロスによる速度遅延や「よく切れる、繋がらない」などの問題が認識されるようになりました。このような背景から、  
『Tbridge』が無線 LAN 最適化のニーズに応えることが期待されます。

詳細につきましては、次頁をご参照ください。

なお、本特許査定による平成 30 年 3 月期（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）の当社業績への影響はございません。

以上

<参考>

平成 30 年 3 月期の連結業績予想（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第 2 四半期（累計）	950	10.5	55	△18.2	93	12.5	75	32.0	19.64
通期	2,150	10.4	230	11.4	250	10.7	175	11.2	45.83

2017年5月19日  
チエル株式会社

## チエル、無線 LAN 最適化ソリューション『Tbridge(ティーブリッジ)』製品化 に向けて開発した技術により特許を取得

チエル株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:川居 睦、以下チエル)は、情報通信機器の開発を手がける韓国の株式会社 NOA Systems(本社: #208, 28,Digital-ro 33-gil ,Guro-gu,Seoul ,Korea 代表者:琴 正在 以下:ノア社)と共同で開発し、特許出願しておりました「中継装置、中継方法及び中継プログラム」に関し、この度、特許査定を受けましたことをご知らせいたします。なお、本特許技術を用いた製品として、無線 LAN 最適化ソリューション『Tbridge(ティーブリッジ)』(※)を発売しています。

(※ <http://www.chieru.co.jp/products/tbridge/>)

### ■背景と概要

近年、公衆 Wi-Fi を含め、企業や教育機関等で無線 LAN が普及するにつれて、業務や授業で無線 LAN を利用する端末が増加しています。しかしながら、無線 LAN ではパケットロスによる速度遅延や、「よく切れる、繋がらない」などの問題があり、これらを解決するソリューションのニーズが高まっています。

チエルでは、こうしたニーズを踏まえて、2014年10月より、ノア社と共同開発し、「中継装置、中継方法及び中継プログラム」に関する特許技術として出願しておりましたところ、この度、特許査定を受けるに至りました。

すでに、本特許技術を用いた製品として、TCP プロトコルの課題を根本から解決し、安定的な無線 LAN 環境を運用できる新たなソリューション『Tbridge』を日本国内で学校教育市場向けに発売しております。

『Tbridge』は、無線 LAN 使用時の TCP 通信におけるパケットロスの影響を低減し、遅延時間の縮小を実現することで、データ転送の処理能力を改善するものです。検証の結果、パケットロス及び遅延が大きい環境ほど改善効果が高いことが確認されております。

### ■特許

出願番号 特願 2016-039925

発明の名称 中継装置、中継方法及び中継プログラム

発明の効果 本発明の中継装置、中継方法及び中継プログラムによれば、複数のネットワーク間の通信を中継する中での輻輳制御において、往復遅延時間の最小値を用いた帯域推測値の推測を行い、その帯域推測値に基づいて算出されるスロースタート閾値を使用することにより、従来の輻輳制御の枠組みの中で、通信量の急な増加によるセグメント損失を抑え、輻輳検知による再送のための時間を短縮し、効率的な制御を行うことができる。

### ■株式会社 NOA Systems について

本社所在地: #208, 28,Digital-ro 33-gil ,Guro-gu,Seoul ,Korea

代表者:琴 正在

事業内容:TCP 最適化製品の企画・開発

設立年月日:2011年9月1日

### ■チエル株式会社について

「子供たちの未来のために、世界中の先生の授業を ICT で支える」を理念に掲げ、シェア NO.1 のフルデジタル CALL システムや、タブレット対応授業支援システム、利用者 300 万人を超えるクラウド型教材配信サービス『CHieru.net』などの開発を手がける、学校教育市場に特化した ICT 専門メーカー。

事業内容:コンピュータソフトウェア、コンピュータネットワーク、及びコンピュータシステムの企画・開発・販売

設立年月日:1997年10月1日

URL: <http://www.chieru.co.jp/>

### 【本リリースに関するお問合せ先】

チエル 株式会社

担当:社長室 山田・赤尾

TEL: 03-6712-9721 / E-Mail: [ir@chieru.co.jp](mailto:ir@chieru.co.jp)